



大府市緑化推進事業を 丁R大府駅東周辺で11月5日に実施しました



自転車・歩行者交通安全教室 7月9日開催!!



大府公民館まつり 10月1日 10月2日 開催



ふれあい

大府コミュニティだより

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
調査広報部会
事務局

大府公民館
TEL48-1007

助けあう
家庭と地域を
創造しよう

大府市循環ふれあいバス 市内遊覧

中京女子大学 (メダリストたちの学園、オープンキャンパスも学園祭もあるぞよ)

東コース(火木土まわり)のバスで市役所から十三分。水と緑をたえた自然豊かなキャンパスの白い建物が目をひきます。今年、学園創立一〇〇周年をむかえた中京女子大学です。皆さんご承知のとおり、二〇〇四年アテネ五輪女子レスリングでは、三階級で金銀のメダルを獲得しました。「夢と勇気と感動」を味わった市民の皆さんも多いことでしょう。大学構内の附属幼稚園横の池のほとりを、水鳥をながめながら対岸まで散歩すると、大府市の自然体験学習施設「二ツ池セレクトナ」があります。ここでは、いつでもたっぷり大府の自然を観察することができます。帰りは、中央東コース(火木土まわり)で、セレクトナから市役所まで十二分。皆さんも一度ご家族でおかけください。



大府中学校 (未来も背負う子どもたち)

創 立 昭和二十二年四月
校 長 林 克次先生
生徒数 六二二名 十九クラス
職員数 五十名
校 訓 「親和」
桃山公園の北側に位置し、春には登下校する生徒たちを桜並木が優しく見守ります。二年後には創立六十周年をむかえることもあり、親子二代、大府中学校でお世話になります。という方も多数いらっしゃいます。校訓である親和の精神のもと、ボランティア活動にも積極的に取り組みつつじまつり、コミュニティ運動会夏まつりなど中学生ボランティアのがんばる姿を多く見かけることができます。十月開催の大中フェスタにおいて、大府市を代表する活動を実施。バザーの開催、物品の回収を通して地域のふれあいを深めたりする活動もしています。



大倉公園 (なんじゃもんじゃ...?)

大倉公園で下車すると目の前に広がる庭園。大正時代は大倉氏の別邸として作られたそうです。優雅に四季を楽しむ大庭園、毎年二月の盆梅展が終わり四月の桜、五月に二八〇〇本の競演の中に、小さな真白い花が咲くと雪が積もったように見える優美な木。この木が「なんじゃもんじゃ」の木で名前が大変面白い。公園でこの木には名前の由来の説明が付いており、学名雪の花とも言われとても美しい花が咲くのか来春出掛け鑑賞してみたいかたがたが楽しみ。自生で国の天然記念物に指定されている場所は、長崎県の対馬町、岐阜県犬山、池野洞の以上の個所で、実生、移植により各地で生育されています。



市役所 (この建物は何だ。博物館じゃない。美術館じゃない。市役所だ。)

ふれあいバスの始点であり終点である市役所をみなさんは、どのように利用されているでしょうか? 書類申請や事務処理だけではないですか? 例えば一階の市民ギャラリーでの作品展を見学し、地階へ下り多目的ホールのロビーに飾られた大型絵画を鑑賞し、(こちらはさながら美術館の様です。) ガラス張りのエレベーターにて六階へ展望レストランで喫茶を楽しみながら大府の街を一望してみませんか? 新しい発見があるかも知れませんよ。又ランチやディナーも夜景とともに楽しめます。尚、今年から市役所市民健康広場に美しい巨大イルミネーションが登場しています。(11/27~1/14)是非一度御覧ください。その他、様々な私たちの市庁舎を利用してみませんか?



あの人二人 野々垣道雄さん

未来の子供たちへの橋渡し
— 中央町 —

今回、登場していただきますのは、大府駅前で(株)三交トラベルの専務取締役をしていらっしやる野々垣道雄さんです。

いのしし年生れの野々垣さんが地域との関わりをよりふかめることになったのは、平成十一年子供会会長就任からです。次年度大府小学校PTA会長、次に、大府商工会議所青年部会長、そして現在大府中学校PTA会長として多忙な毎日を送っていらっしやいます。子供会会長の時は、「子供会大会」でドッチボールを始めたころでもあります。又、青年部会長の時は、大府商工会議所に移行した時期であり、その苦労は並大抵ではなかったようです。

そんな日々忙しい野々垣さんですが趣味は、アウトドアのキャンプです。もちろんテントをたて、食事もアウトドアクッキングです。今年の夏は夫婦だけで開田高原に行ったそうです。自然の中で二人だけの世界。読書をしたり、散歩をしたり、仕事や家族のことを話したり、そんな様子が目に浮かんできました。又、年に七回ぐらい家族でキャンプもしているとかがいました。キャンプを通して子供たちに、雨が降ったらどうするのか？風が吹いたらどうするのか？など自然の厳しさの中で自然を相手に考える訓練をさせているそうです。ちなみ

に、「人に迷惑をかけないおとなになる」ことをモットーに、子供たちの成長をみまもっているとのこと。

大府小学校では、ここ数年「人の話を聞く力」を育てることを大切にしています。大府中学校は、「さわやかにあいさつ」をしてくれる生徒がたくさんいます。PTA会長として子供たちとのかかわりが多い中、そんな様子を野々垣さんは、とても嬉しく暖かい目で見えています。又、最近はいろいろなところで、ボランティア活動を通して学校や地域の人たちが子供たちを育てています。でもその一方で、おとなたちにはボランティアを通して子供たちを地域社会にうまく導く大切な役割があることを忘れてはならないと考えていらっしやいます。

最後に仕事についてお聞きしたところ、形のないものを売る仕事なので、「夢と満足」を提供することを一番の目標にしているとのこと。「夢と満足」これは、未来の子供たちにとっても、大切にしてあげたいことです。ボランティア活動、あるいは地域とのふれあいを通して、子供たちが地域とかわりができる橋渡しをしてくださっている野々垣さんを、陰ながら応援したいと思います。

(F)

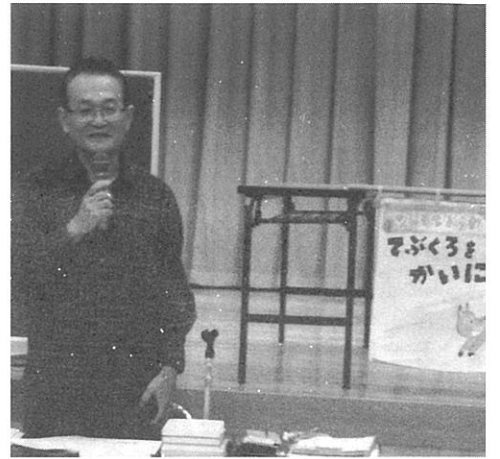


文化福祉部会講演会

「郷土の童話作家南吉」

十月十二日大府公民館において、新美南吉研究の第一人者、沢田保彦先生(元大府中学校校長・前中京女子大学附属幼稚園園長)の講演会が開催されました。

半田から安城の女学校へ通勤の途中大府駅は南吉にとってなじみ深い所であったとのこと。「大府の駅の からのちの垣根に 春立つあした 淡雪はふれり」で始まる詩も紹介されました。もし御存命なら現在九十二歳。昭和十三〜十七年という大変な時代、二十五〜二十九歳死の前年までの、南吉にとって最も充実した日々。大府駅で列車を待つ青年南吉の姿を想像し、「ごんぎつね」の作者を身近に感じることができました。



光る汗！輝く笑顔！！

ソフトボールって楽しい！！

大府市父ちゃんソフトボールは今年で結成以来三十周年をむかえることになりました。大府学区では昭和五十一年五チームで発足しましたが、昭和五十五年からは十二チームになり、熱戦が繰り広げられてきました。しかし平成に入ると選手層の高齢化が進み、だんだんチームが減少傾向になり、現在では発足当時に近い七チームで活動しています。ピッチャーの速い球は禁止、女性を二名、四十五歳以上を必ず入れる等、だれにでもソフトボールが楽しんでもらえるようにルールが決められています。大府市内に在住、在勤されておられる方なら誰でも参加することができます。休日の昼下がり青空の下で白球を追っかけてみませんか。やってみようと思われの方は長根町に在任の兵藤正信(四六一三八五九)まで連絡してください。

あとがき



十月二日の公民館まつりで、クリム色の葉牡丹の苗を一本もらいました。さびしそうだったので、十月二十五日の熱田神社の朝市で、紫を一本買い足しました。鉢を並べてなんとなくいい気分。庭の千両の実も少しずつ赤味を増してきました。自然は、迎春準備万端とのい、今年も残りわずか。よいお年をお迎えください。